

# 介護老人保健施設芙蓉の丘 中期経営計画

(令和3年度～令和7年度)

1	利用状況	1
2	利用者の地域別割合	2
3	近隣の介護老人保健施設	3
4	経営状況	4
5	構成市の将来推計人口	5
6	目標値	6
7	収支目標	7
8	資本的支出の予定	8
9	芙蓉の丘の役割について	9
10	経営上の課題について	9
11	経営の改善について	9
12	芙蓉の丘の今後について	9

介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、在宅への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。利用者ひとりひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフがを行い、夜間でも安心できる体制を整えています。

介護老人保健施設をご利用いただける方は、介護保険法による被保険者で要介護認定を受けた方のうち、病状が安定していて入院治療の必要がない要介護度1～5のリハビリテーションを必要とされる方です。

介護老人保健施設は、常に利用者主体の質の高い介護サービスの提供を心がけ、地域に開かれた、利用者のニーズにきめ細かく応える施設です。介護予防を含めた教育・啓発活動など幅広い活動を通じ、在宅ケア支援の拠点となる事を目指して、ご利用者・ご家族の皆様が、快適に自分らしい日常生活を送れるよう支援をしています。

## 1 利用状況

直近5年間の地区別利用者数及び入所・退所状況については以下のとおりで、併設の介護老人保健施設として蒲原総合病院と連携しています。

### ① 地区別入所利用者数（短期入所含む）（直近5年間）（単位：人）

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
稼働日数（日）	366	365	365	365	366
富士市	18,200	19,820	19,155	16,832	20,022
静岡市	15,604	13,860	12,860	12,181	11,676
富士宮市	0	0	239	387	1,487
その他	764	539	370	630	1,053
計	34,568	34,219	32,624	30,030	34,238
1日平均	94.4	93.8	89.4	82.3	93.5

### ② 地区別通所リハビリ利用者数（直近5年間）（単位：人）

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
稼働日数（日）	243	243	247	244	243
富士市	4,781	5,356	6,763	6,021	5,586
静岡市	4,321	4,482	4,307	4,136	4,363
富士宮市	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	9,102	9,838	11,070	10,157	9,949
1日平均	37.5	40.5	44.8	41.6	40.9

### 【 入所 】

（単位：人）

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
蒲原病院	51	35	31	43	33
蒲原病院外	41	43	48	64	54
在宅	33	35	42	50	37
他施設	8	8	6	14	17
合計	92	78	79	107	87

### 【 退所 】

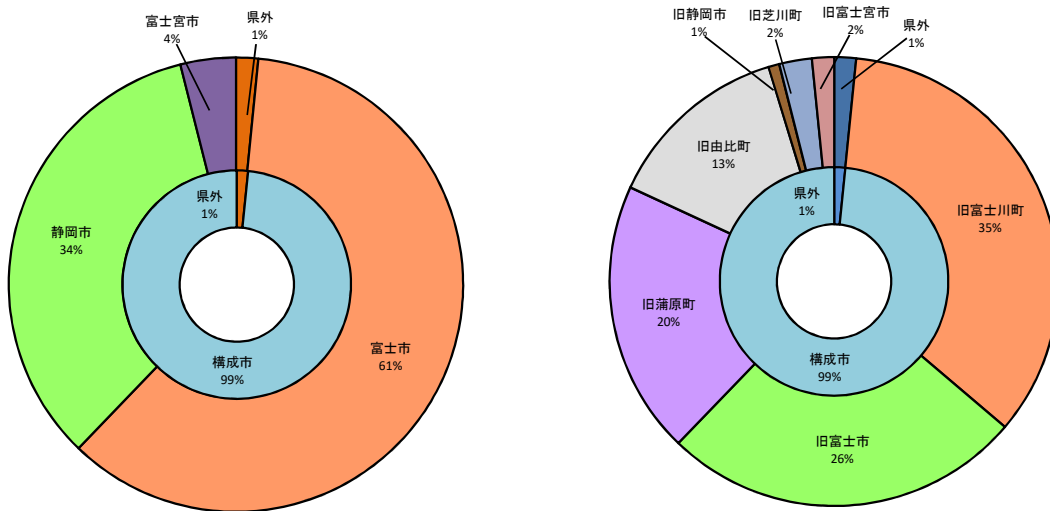
（単位：人）

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
蒲原病院	40	15	19	13	12
蒲原病院外	61	62	75	82	65
在宅	33	29	45	47	32
他施設	20	16	6	10	8
死亡退所	8	17	24	25	25
合計	101	77	94	95	77

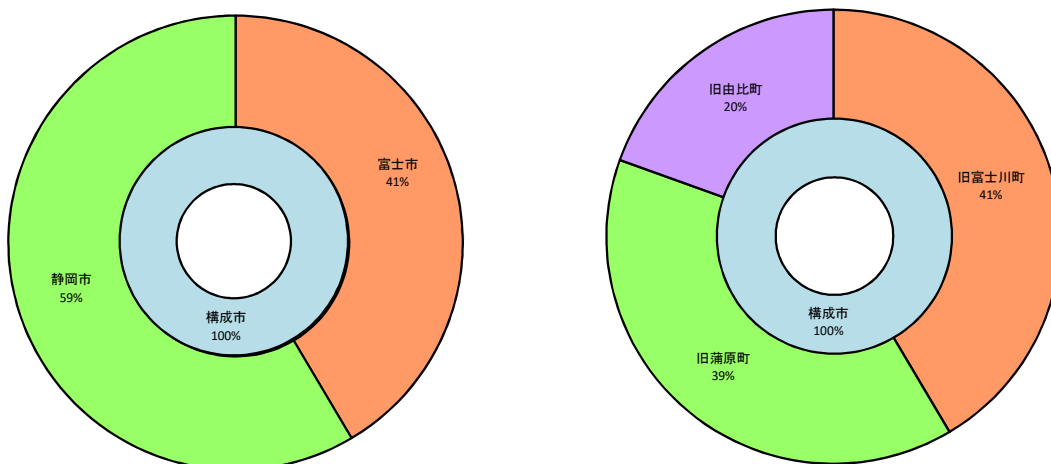
## 2 利用者の地域別割合（令和2年10月現在の実利用者）

令和2年度における各サービスの地区別傾向はほぼ構成市で占めています。さらに構成市の中においては、当施設の近隣地域である旧4町の割合が高い状況で地域に密着した施設です。

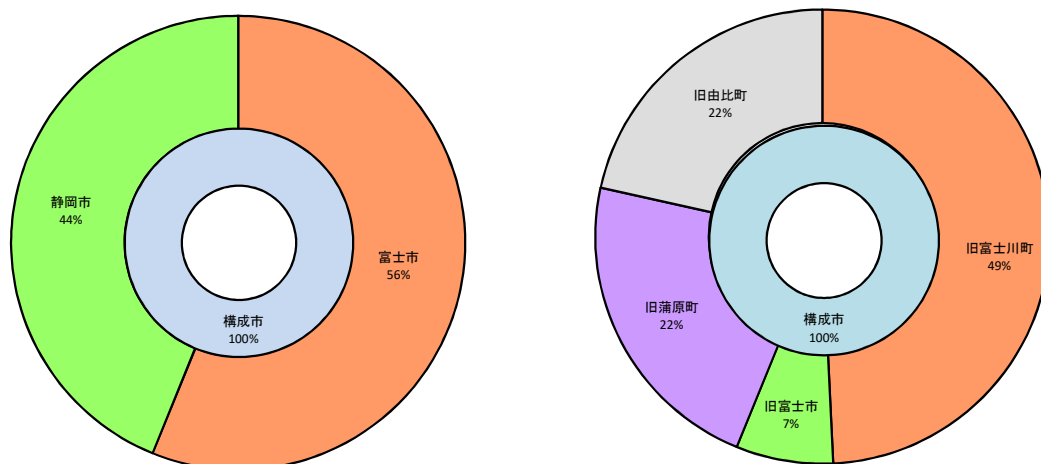
### 【入所】



### 【短期入所】

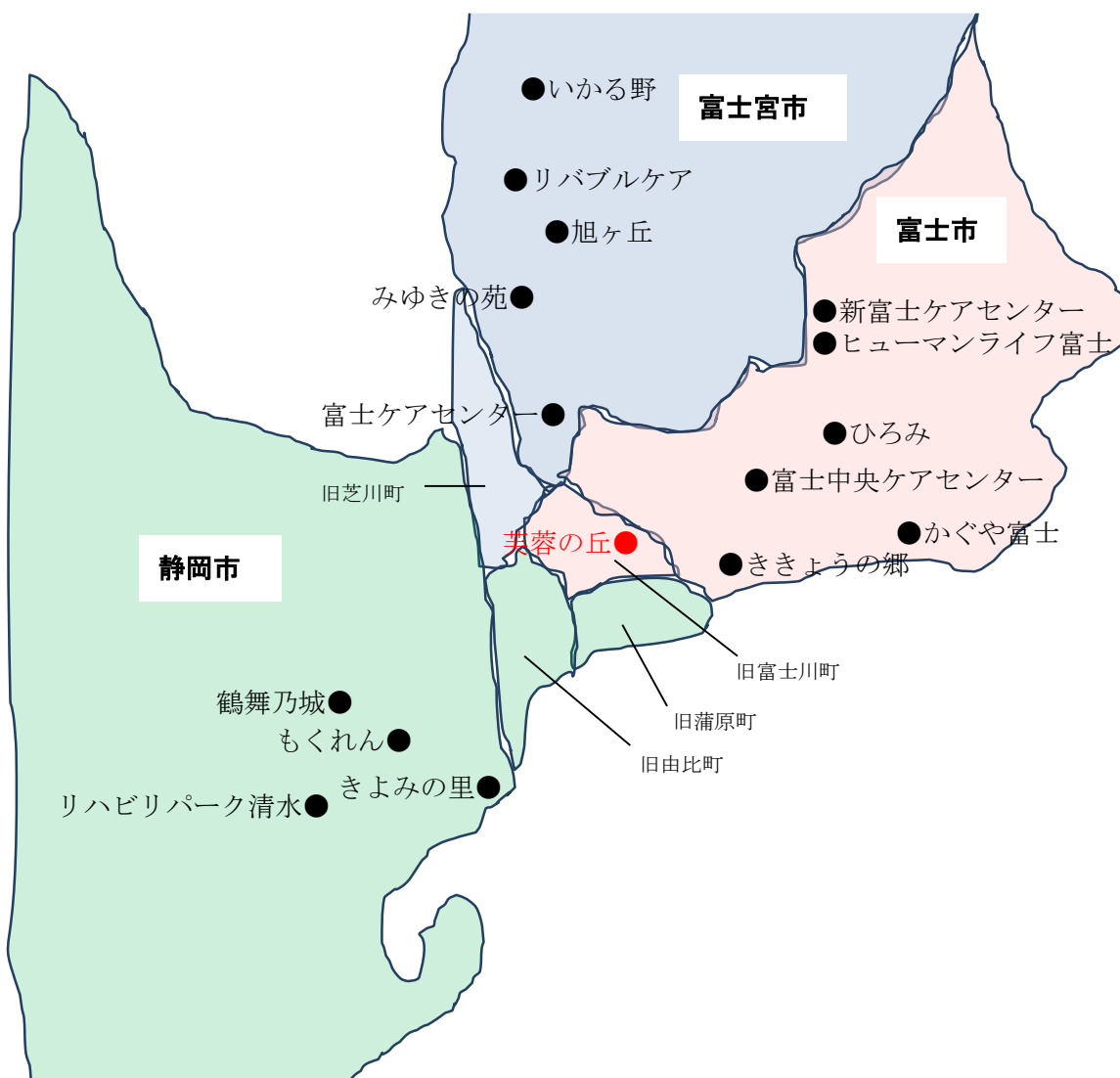


### 【通所リハビリテーション】



### 3 近隣の介護老人保健施設

近隣における介護老人保健施設の開設状況については次のとおりとなっています。  
 旧庵原郡及び旧芝川町における介護老人保健施設は芙蓉の丘の1施設となっています。



区分	施設名	住所	入所定員	通所定員
富士市	芙蓉の丘	富士市中之郷 2500-1	100	60
〃	ききょうの郷	富士市五貫島 175	100	70
〃	かぐや富士	富士市中里 2546-7	100	55
〃	富士中央ケアセンター	富士市厚原 372-1	100	30
〃	ひろみ	富士市大淵 39-1	90	40
〃	ヒューマンライフ富士	富士市大淵 3901-1	195	60
〃	新富士ケアセンター	富士市大淵 3898-1	104	—
静岡市	きよみの里	静岡市清水区興津東町 1829	100	60
〃	もくれん	静岡市清水区草ヶ谷 624-22	158	—
〃	鶴舞乃城	静岡市清水区庵原町 3158	100	70
〃	リハビリパーク清水	静岡市清水区石川 135	100	30
富士宮市	富士ケアセンター	富士宮市星山 1129	100	60
〃	みゆきの苑	富士宮市宮原 337-4	109	70
〃	旭ヶ丘	富士宮市山宮 1027-2	100	49
〃	リバブルケア	富士宮市原 682	72	34
〃	いかる野	富士宮市原 709	100	34

## 4 経営状況

収益については、最も構成比が高い入所介護料収益が、介護報酬改定の影響等で平成29年度と30年度に減少しましたが、令和元年度に回復しています。

一方、費用は給与費が増加し、減価償却費及び支払利息及び企業債取扱諸費が減少しています。

純損益は、平成30年度に△41,556千円の赤字となっていますが、令和元年度は1,855千円の黒字に回復しました。

### ① 損益計算書（直近5年間）

（単位：千円）

勘定科目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
入所介護料収益	331,042	334,158	318,313	291,961	344,924
短期入所介護料収益	18,674	23,041	27,119	30,695	25,358
通所リハビリテーション介護料収益	92,442	99,749	109,492	94,817	95,146
居宅介護支援介護料収益	18,916	19,128	19,603	19,205	18,398
利用者等利用料収益	93,838	92,958	89,793	83,513	93,813
その他の事業収益	822	850	757	685	987
受取利息及び配当金	392	388	157	133	27
他会計負担金	17,302	16,323	15,329	14,318	13,291
その他の事業外収益	11,427	6,057	5,725	5,542	5,418
老健施設事業収益計	584,855	592,652	586,288	540,869	597,362
給与費	383,662	376,259	376,901	374,669	390,038
材料費	15,585	15,376	16,167	13,244	16,477
経費	136,572	132,904	128,504	137,134	138,037
減価償却費	57,266	57,916	39,913	39,439	34,043
資産減耗費	422	0	1,181	0	0
支払利息及び企業債取扱諸費	17,301	16,323	15,329	14,318	13,291
繰延勘定償却	3,621	3,621	3,621	3,621	3,621
老健施設事業費用計	614,429	602,399	581,616	582,425	595,507
純損益	△ 29,574	△ 9,747	4,672	△ 41,556	1,855

### ② サービス別利用者数・利用単価

（単位：人）

利用者数	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
入所	32,893	32,245	30,257	27,394	32,142
短期入所	1,675	1,974	2,367	2,636	2,096
（入所合計）	34,568	34,219	32,624	30,030	34,238
通所	9,102	9,838	11,070	10,157	9,949

（単位：人）

1日平均利用者数	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
入所	89.9	88.3	82.9	75.1	87.8
短期入所	4.6	5.4	6.5	7.2	5.7
通所	37.5	40.5	44.8	41.6	40.9

（単位：円）

利用単価	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
入所	12,529	12,809	12,954	13,117	13,182
短期入所	13,733	14,171	14,000	14,232	14,791
通所	11,090	11,070	10,807	10,253	10,507

※利用単価には、利用者等利用料収益分を含んでいます。

（単位：日）

稼働日数	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
（入所稼働日数）	366	365	365	365	366
（通所稼働日数）	243	243	247	244	243

## 5 構成市の将来推計人口

各構成市の総人口は、今後、減少し続ける見込みですが、65歳以上の人口は今後上昇し、その後減少する見込みです。

富士市の将来推計人口

(単位：人)

区分	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
14歳以下	29,975	26,640	24,238	22,187	20,620	19,051
15歳～39歳	56,756	52,218	48,205	44,649	40,227	36,107
40歳～64歳	83,846	80,293	74,685	67,092	58,797	53,579
65歳以上	69,977	71,664	72,780	74,284	76,306	74,591
計	240,554	230,815	219,908	208,212	195,950	183,328

静岡市の将来推計人口

(単位：人)

区分	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
14歳以下	79,390	73,220	68,162	63,997	61,257	58,322
15歳～39歳	166,505	157,138	150,343	143,606	133,794	125,160
40歳～64歳	231,748	226,322	214,710	198,154	179,005	167,831
65歳以上	212,113	212,856	212,883	214,852	220,249	216,518
計	689,756	669,536	646,098	620,609	594,305	567,831

富士宮市の将来推計人口

(単位：人)

区分	R2年	R7年	R12年	R17年	R22年	R27年
14歳以下	16,283	14,739	13,635	12,637	11,858	11,102
15歳～39歳	29,953	27,847	26,114	24,865	23,093	21,194
40歳～64歳	43,483	42,455	40,733	37,550	33,389	30,679
65歳以上	38,289	39,133	39,152	39,485	40,601	40,108
計	128,008	124,174	119,634	114,537	108,941	103,083

※国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年3月推計）』

## 6 目標値

令和7年度までの期間において、以下に掲げる利用者数を目標にして事業を運営していきます。  
地域の高齢者が安心して継続的に利用したい介護施設となるよう努めていきます。

### 入所目標値

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
許可定員 (人)	100	100	100	100	100
利用率 (%)	96	97	98	98	98
1日利用者数 (人)	96	97	98	98	98
稼働日数 (日)	365	365	366	365	365

### 【入所内訳】

#### 入所

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
許可定員 (人)	100	100	100	100	100
利用率 (%)	92	93	94	94	94
1日利用者数 (人)	92	93	94	94	94
利用単価 (円)	10,804	10,904	11,004	11,104	11,204
稼働日数 (日)	365	365	366	365	365
年間収益 (千円)	362,797	370,135	378,580	380,977	384,408

#### 短期入所

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
許可定員 (人)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)
利用率 (%)	40	40	40	40	40
1日利用者数 (人)	4	4	4	4	4
利用単価 (円)	12,343	12,443	12,543	12,643	12,743
稼働日数 (日)	365	365	366	365	365
年間収益 (千円)	18,020	18,166	18,362	18,458	18,604

※短期入所は入所の空床利用（許可定員100床のうち最大10床までの使用可、同日の重複利用は不可）

### 通所リハビリテーション目標値

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
許可定員 (人)	60	60	60	60	60
利用率 (%)	83	83	83	83	83
1日利用者数 (人)	50	50	50	50	50
利用単価 (円)	9,676	9,676	9,676	9,676	9,676
稼働日数 (日)	242	243	243	243	242
年間収益 (千円)	117,078	117,562	117,562	117,562	117,078



## 7 収支目標

収入

(単位：千円)

款 項 目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
老健施設事業収益	632,195	639,519	647,164	648,492	650,453
施設運営事業収益	615,575	623,825	632,566	635,009	638,102
入所介護料収益	362,797	370,135	378,580	380,977	384,408
短期入所介護料収益	18,020	18,166	18,362	18,458	18,604
通所リハビリテーション 介護料収益	117,078	117,562	117,562	117,562	117,078
居宅介護支援介護料収益	19,491	19,491	19,491	19,491	19,491
利用者等利用料収益	97,318	97,600	97,700	97,650	97,650
その他の事業収益	871	871	871	871	871
施設運営事業外収益	16,620	15,694	14,598	13,483	12,351
受取利息及び配当金	0	0	0	0	0
他会計負担金	11,185	10,106	9,010	7,895	6,763
その他事業外収益	5,435	5,588	5,588	5,588	5,588

費用

(単位：千円)

款 項 目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
老健施設事業費用	627,287	631,075	632,354	632,417	632,900
施設運営事業費用	614,997	620,468	622,843	624,021	625,636
給与費	424,095	425,229	426,363	427,497	428,631
材料費	16,830	17,200	17,200	17,200	17,200
経費	148,545	152,000	152,000	152,000	152,000
減価償却費	25,527	26,039	27,280	27,324	27,805
施設運営事業外費用	11,790	10,107	9,011	7,896	6,764
支払利息及び企業債 取扱諸費	11,186	10,107	9,011	7,896	6,764
繰延勘定償却	604	0	0	0	0
予備費	500	500	500	500	500
予備費	500	500	500	500	500

(単位：千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
老健事業収益	632,195	639,519	647,164	648,492	650,453
老健事業費用	627,287	631,075	632,354	632,417	632,900
収 支	4,908	8,444	14,810	16,075	17,553

## 8 資本的支出の予定

開設から19年が経過し、建物、建物附属設備及び車両等の老朽化が進んでいます。施設を継続するうえで必要性の高いものから改修・更新を行います。

支出

(単位：千円)

款 項 目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
資本的支出	69,380	80,458	88,814	100,669	73,803
建設改良費	3,501	13,500	20,760	31,500	3,501
施設改良費	1	10,000	17,260	28,000	1
固定資産購入費	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
企業債償還金	65,879	66,958	68,054	69,169	70,302
企業債償還金	65,879	66,958	68,054	69,169	70,302

### 【建設改良費内訳】

令和3年度	医療用器械備品購入、その他器械備品購入
令和4年度	1階パッケージエアコン更新工事 地階パッケージエアコン更新工事 医療用器械備品購入、その他器械備品購入
令和5年度	冷温水発生機更新工事、給湯設備更新工事 医療用器械備品購入、その他器械備品購入
令和6年度	屋上防水改修工事 医療用器械備品購入、その他器械備品購入
令和7年度	医療用器械備品購入、その他器械備品購入

## 9 芙蓉の丘の役割について

利用実績、利用者の地域別割合に表われている通り、介護老人保健施設芙蓉の丘は地域住民に必要とされるサービスを提供する役割があり、将来にわたって公共の福祉の増進のため、今後も継続して運営する必要があります。

医療法において、「営利を目的として病院等を開設しようとする者に対しては、開設の許可を与えないことができる」ことになっていますが、介護保険法においても第94条第4項において「都道府県知事は、営利を目的として、介護老人保健施設を開設しようとする者に対しては、第1項の許可を与えないことができる。」とされ経営母体は公的法人である地方公共団体、非営利法人である医療法人、社会福祉法人となっています。

近隣介護老人保健施設におきましては、多くが保健・医療・福祉複合体として医療、福祉サービスを同一法人内で自己完結的に提供できる体制をとっています。共立蒲原総合病院が地域包括ケアシステムの構築を目指すなか、複合体の一部としての位置づけである芙蓉の丘は病院と切り離せない存在であると言えます。

## 10 経営上の課題について

収入の介護報酬における基本利用料にはリハビリを始めとした介護上必要である行為はそのほとんどが「まるめ」となっており、単価の大きな上昇は望めません。

費用におきましては、施設基準で定められた人員での運用を行っていますが、定期昇給等による給与費の増、老朽化に伴う修繕費の増などにより費用は年々増大する事が予想されます。

また、企業債償還元金が減価償却費を上回る事により現預金が減少し、施設の運営が厳しい状況となります。

## 11 経営の改善について

収益については、「加算型」介護老人保健施設での運用及び新規加算の算定を目指します。

費用の増については、人件費が大きく影響していますが、人員基準での運用であるため、減員は困難な状況です。経費については芙蓉の丘における委託契約、賃借契約等はスケールメリットを活かし、概ね病院組合としての一括契約となっています。消耗品・光熱水費など見直せるものについて削減に努めます。

## 12 芙蓉の丘の今後について

地域住民が安心して継続的に利用できる介護施設として更なる経営の改善を図るため、より効率的な運営ができるよう、共立蒲原総合病院の併設施設から附帯事業化を検討する必要があります。